

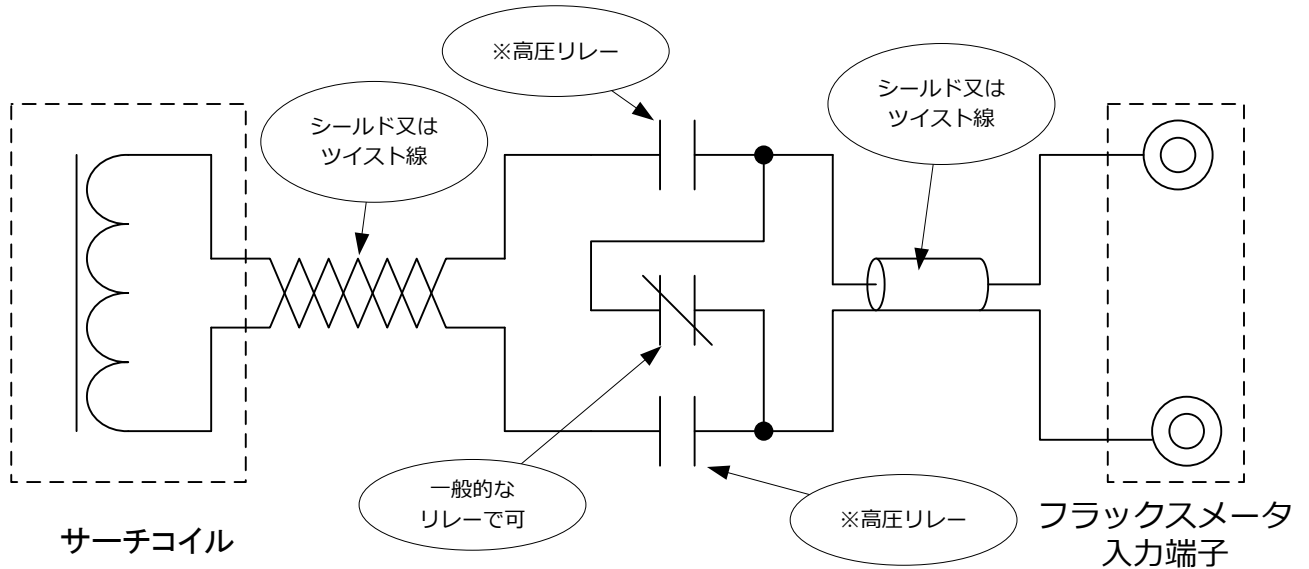
# TFM-2000 使用上の注意

サーチコイルに高電圧が発生するような使用状況の場合は、通電（着磁）時にサーチコイルとフラックスメーターを切り離し、メーターの入力端子をショート状態にしてください。

※高圧リレーは微小負荷開閉に適した仕様のものを選択してください。

配線はノイズ防止の為、シールド線又はツイスト線（撚り線）を使用してください。又、最短距離とし、動力線からなるべく距離をとって配線してください。

推奨 OMRON製  
型式 形G2RV-SR□□ □-AP □  
(AP:微小負荷用)



自動ラインでのフラックスメーターの設定は  
ホールドモードで使用してください。

## 自動ラインでの使用例

良品測定値（コンパレート基準値）が2桁になってしまう場合、10倍感度に設定してください。  
（通常はノーマル感度で使用してください。）

巻き数設定は特に指定が無い場合"0001"に設定してください。

